外国語活動学習指導案

指導者　Ｔ１　外国語担当　　高畑　律子
Ｔ２　ALT　Darryl　Gibbs

１　日　時　　令和２年２月 14 日（金）　第５校時
２　学　年　　第５学年３組（37 名）
３　単元名　　Where is the treasure?　位置と場所　（We can!　１　Unit７ ）
４　単元について

○　新しい教科書が決定し，第５・６学年外国語科（70 時間）に向けた準備が着々と進んでいる。新学習指導要領によると，「コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，身近で簡単な事柄について，聞いたり話したりするとともに，音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり，語順を意識しながら書いたりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。」とある。

本単元「We Can!１　Unit７　Where is the treasure?」は，道案内に使う表現　(Go straight, Turn right.)だけでなく，位置関係を示す前置詞(on / in / under / by)についても理解を深め，ものの位置を尋ねたり答えたり，場所を尋ねたり答えたりして道案内ができるようになることを目標にしている。

児童が，これから先，道を尋ねられた時或いは行きたい場所への道を尋ねたい時，外国語によるより豊かなコミュニケーションを図り，的確に理解し適切に伝え合うコミュニケーション能力の育成につながると考え本単元を設定した。

○　本学級の児童は，昨年度より外国語活動を行っている。外国語活動についてのアンケートを行ったところ肯定的回答をした児童は次記の通りであった。

1	小学校での英語の勉強は将来役に立つと思います。	100 %
2	外国語活動（英語）の授業以外で英語を使ってみたいと思います。	94 %
3	もっと英語を学びたいと思います。	100 %
4	外国語活動（英語）の授業に進んで参加しています。	94 %
5	外国語活動（英語）の授業では，英語を使う場面を考えながら活動しています。	92 %
6	外国語活動（英語）の授業では，日本と外国のくらしや習慣，文化などのちがいを知ることができます。	97 %
7	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	94 %
8	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，だいたいの内容が分かります。	94 %
9	英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしています。	94 %
10	英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしています。	83 %
11	英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えています。	89 %

12	英語の文字（アルファベット）を読むことができます。	89 %
13	英語を読む時には，単語や表現の意味を考えながら読んでいます。	94 %
14	英語を書く時には，単語の間を空けるなど，英語の書き方のきまりを守って書いています。	81 %
15	英語を書く時には，単語をならべる順番を考えながら書いています。	83 %

これらの結果より，児童は，「小学校での英語の勉強は将来役に立つ。」(100%)，「もっと英語を学びたい。」(100%)と思っており，「外国語活動（英語）の授業以外で英語を使ってみたい。」(94%)，「外国語活動（英語）の授業に進んで参加している。」(94%)，「外国語活動（英語）の授業では，英語を使う場面を考えながら活動している。」(92%)と，実際の場においても意欲の高さを感じる。また，「英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしている。」は，(94%)で，授業中も友達の発言によく反応している。「英語の文字（アルファベット）を読むことができる。」(89%)，「英語を読む時には，単語や表現の意味を考えながら読んでいる。」は(94%)であった。ピクチャーズ・カードの絵やアルファベットを手がかりに英語表記の言葉を読もうとチャレンジする姿勢はあるが，「読む」ことの学習経験は，まだまだ十分ではなく本単元で「読む」ことについてしっかりと慣れ親しませる必要がある。

○　そこで，本単元「We Can!　1 Unit７　Where is the treasure?」では，音声で十分に慣れ親しんだ「Go straight.」，「Turn right.」等の表現を使って，道案内のやり取りを行う。地図や picture cards を使って行き方を尋ねたり答えたり，教室内を街に見立てて実際に動きながらやり取りすることで理解を深め，実際の場面で使うことができるようにする。

本単元のゴールとして，宝探しの活動を仕組む。宝の地図と道順が書かれた指令書をもとにグループで協力し，指令文を読み解きながら宝を探す。指令文は，音声で十分に慣れ親しんだ「Go straight for 2 blocks.」，「Turn right at the 3rd corner.」等の表現をアルファベットや絵を手がかりに読み解いていく。その際，グループで活動することで，友達と一緒に推測しながら読んだりサポートし合って読んだりすることで，読むことに楽しんで慣れ親しませたい。

また，この指令文は，各グループに１つずつ担当させグループワークで作成するようにする。この指令書を作るにあたっては，１つのグループに１つずつ地図上の宝を指定し，スタート地点から宝もののゴールまでの道順をグループのみんなで決め，音声で十分に慣れ親しんだ表現「Go straight for 3 blocks.」，「Turn left at the 1st corner.」，「You can see it on your right.」等の表現をプログラミング的思考で組み立てていく。その際，これらの使用表現は，カードで用意し，道順に応じてカードを選んだり並べかえたりして思考及び操作しやすいようにする。

各グループが担当する宝ものは，アルファベットの１文字を意図的に指定する。全グループの宝もの（アルファベット８文字）を集めると「本当の宝もの（everyone）」が現れる仕掛けとする。「e」は，３グループが使用するが，行く道順がグループによって違うことも考えられ，それらを楽しみながら，クラスみんなでクラスの宝探しを楽しみながら読んだり書いたりすることの理解を深めさせていきたい。本時は，自分達の指令書を作る際，そして，他グループの指令書を７種類（７回）読むことで，「読む」ことに慣れ親しむことができる。実生活の中で，標識や看板，パンフレット等を推測しながら読もうとする力へとつなげていきたい。

５　単元目標

【コ】　進んで場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。

【慣】　道案内や，物の位置を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また，簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しむ。

【気】　日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付く。

新学習指導要領の観点

○　物の位置を尋ねたり答えたりする表現を，聞いたり言ったりすることができる。また，簡単な語句を書き写すことができる。【知識及び技能】

○　道案内で，場所を尋ねたり答えたり，簡単な語句を推測しながら読んだりする。【思考力，判断力，表現力等】

○　他者に配慮しながら，場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。【学びに向かう力，人間性等】

５つの領域別目標

イ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。【話すこと（やり取り）】

イ　音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。【読むこと】

６　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
進んで場所を尋ねたり道案内をしたりしようとしている。	道案内や，物の位置を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。また，簡単な語句を書き写すことや，文字の音に慣れ親しんでいる。	日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付いている。

７　単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	クラスの友達と宝探しゲームを通して，道案内の仕方の表現をどう使えばいいのか，どう読み解いたのか自分の考えを伝え合っている。
目指す発話例	Where is the treasure? Turn right.　Go straight for 3 blocks.　Turn left at the 2nd corner. You can see it on your left.　It's 「r」.

８　言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
Where is the treasure?　Go straight（for three blocks）. Turn［ right / left ］（at the third corner）. You can see it on your［ right / left ］. It's［on / in / under / by］（the desk）.	身の回りの物（cup, basket, bat, castanets, compasses, dice, glasses, globe, glove, map, mat, piggy bank, wall, whistle, yo-yo），施設・建物（fire station, gas station, police station, post office, hospital, supermarket, convenience store, department store, park）,treasure, block, in, under, by, corner ［既出］動作，施設・建物（library, school, station, bookstore），身の回りの物，right, left, straight, cap

９　単元計画

時	目標（◆），主なやり取り等，・誌面化されている活動	評価規準・評価方法
1	◆　位置関係を表す語 on / in / under / by を使って，身の回りの物の位置の言い方に慣れ親しむ。 ・Let's Watch and Think　P50・P51 ○ Target　Language Where is my eraser?　It's in the pencil case. Where are my scissors?　They are by the glue stick. Where is my ruler?　It's under the notebook. Where is my map?　It's on the wall.	【慣】物の位置を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。（発言，リフレクションカード）
2	◆　物の位置を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しむ。 ★ Small Talk（ALT から児童に対して行う。） ALT: Where is the clock?　C1: It's on the wall. ALT: What time is it now?　C2: It's eleven forty. ALT: Where is the PC?　C3: It's on the desk. ALT: Do you have a PC?　C4: No,I don't. ALT: Do you want a PC?　C5: Yes,I do. ・Let's Listen 1　・Let's play 2　P52 ・Let's Listen 2　・Let's play 3　P53	【コ】進んで場所を尋ねようとしている。（発言，リフレクションカード）
3	◆　方向や場所を尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しむ。 ・Activity　方向転換の言い方に合わせて体を動かすゲームをする。 ・Let's Listen 3　・Let's play 4　P54 Where is the park? Turn right.　Go straight.　You can see it on your left. Where is the station? Go straight for two blocks. Turn left. You can see it on your right.	【気】日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付いている。（行動観察，リフレクションカード）
4	◆　誌面の地図を使い，宝物までの道案内の言い方に慣れ親しむ。 ・Let's　Listen 4　P56・P57 ① Go straight.　Turn left at the first corner.　Go straight for just a little bit.　You can see it on your right.　It's by the pond. ② Go to the corner.　Turn left. Go straight for one block. Turn right.　Keep going.　You can see it on your left. ③ Go straight only a little bit. Turn right. Go straight for one block. Turn left. Keep going. You can see it on your left. It's in the box. ・Activity　ペアで宝物探しゲームをする。	【慣】道案内の表現に慣れ親しんでいる。（行動観察，リフレクションカード）

5 本時	◆　道案内で使う表現を読むことに慣れ親しむことができる。 ○ Activity１　サイモン・セッズゲーム 「Simon says turn right.」 ○ small talk　「Where is the post office?」 ○ Activity２　宝探し指令書作り（グループワーク） ○ Activity３　宝探し（グループワーク） ○ Activity４　クラスの宝ものは!? ○ Reflection　time	【コ】進んで友達と宝探し指令書を作ったり読み解いたりしようとしている。 【慣】道案内の表現に慣れ親しんでいる。また，簡単な語句を読むことに慣れ親しんでいる。 （行動観察，発言，ワークシート，リフレクションカード）

10　本時の計画

（1）目標　　宝探しの道順を友達と考えたり，読み解いたりすることで，道案内の表現に慣れ親しむことができる。また，読むことに慣れ親しむことができる。

（2）評価規準

【コ】　進んで友達と宝探し指令書を作ったり読み解いたりしようとしている。

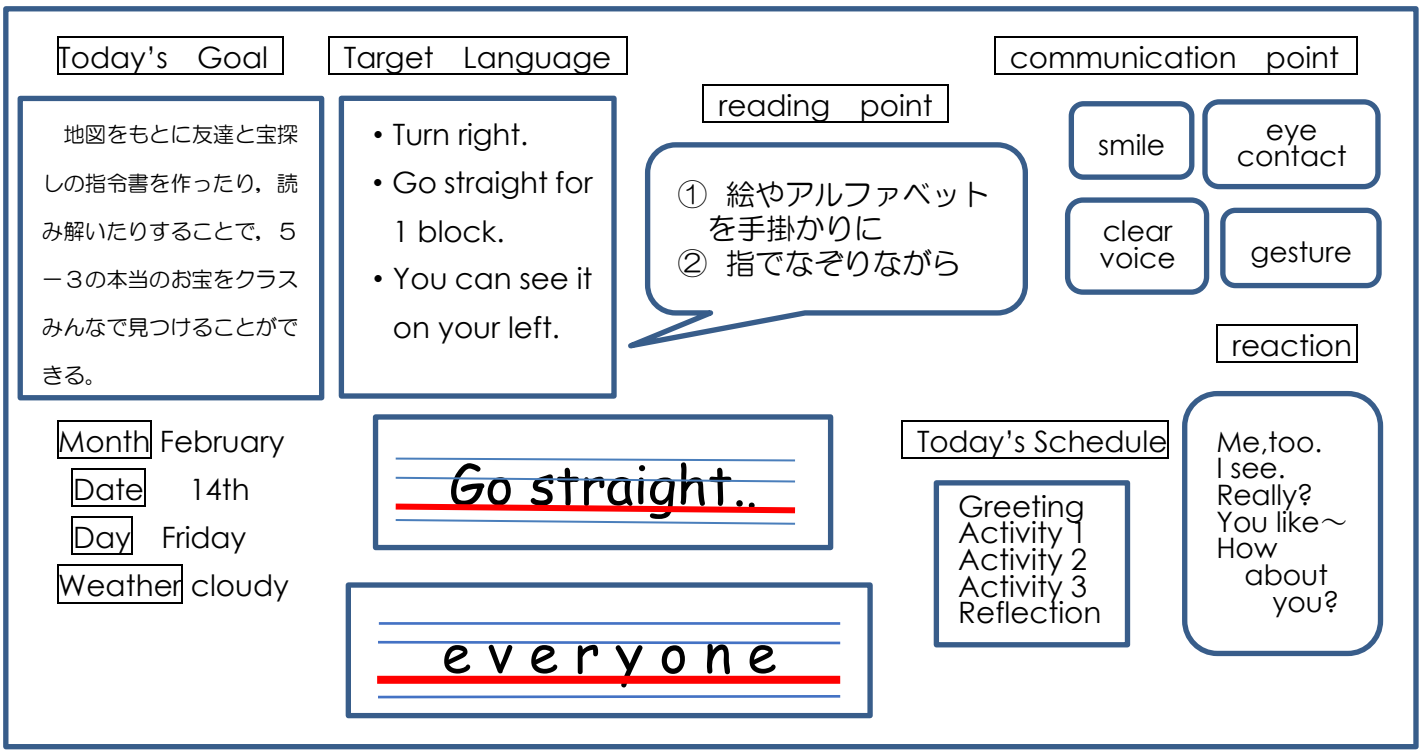
【慣】　道案内の表現に慣れ親しんでいる。また，簡単な語句を読むことに慣れ親しんでいる。

（3）準備物　宝探し地図，道案内の指令表現カード，ミニホワイトボード，ワークシート，リフレクションカード

（4）展開

学習活動	指導上の留意事項と使用英語例	評価規準・評価方法
1【Greeting】 Hello, everyone. Hello,○○. How are you? I'm (fine,great,happy,…). How's the weather ? It's cloudy. What day is it today? It's Friday. What's the date today? It's February 14th. What time is it now? It's one fifty-five	○　毎始業時に，定型として行っている挨拶をリーダーが中心となって行うことで，主体性や自信につなげる。 ○　感情や様子を聞き合うやり取りを個別に行うことで，一人一人が自分の感情や様子を考えながら答えたり，友達の発言に反応したりして，児童同士の Small Talk の体験を積む場とする。 ○　今日の天候や日にち・曜日・時刻について，ALT の問いかけに答えることで，既習表現に慣れ親しめるようにする。	

２【Activity１】 サイモン・セッズゲーム 「Simon says go straight.」 「Turn left.」 「Simon says turn right.」	○　ALT が言う号令を聞き，体を動かす。 ○　ゲームを通して，本時に関わる表現に慣れ親しむことができるようにする。	
３【small talk】 児童を巻き込み，実際の生活場面で使うことを想定したやり取りをする。	ALT:　I want a stamp.（絵葉書を見せながら） Where is the post office? T1：　Oh, posting to a friend? ALT:　No, to my family in the UK. T1：　That sounds nice. Where is the post office near our school? （児童に問いかける。） S1：　It's Shiraishi post office. ALT:　Which way?　Left?　Right?. （ジェスチャーをつけながら） Stu：　OK, turn right. Go straight for 1 block. You can see it on your left. ALT:　Thank you.	
４【Today's　goal】を確認する。	○　本時の読む活動への意欲を高める。 地図をもとに友達と宝探しの指令書を作ったり，読み解いたりすることで，５－３の本当のお宝をクラスみんなで見つけることができる。	
５【Activity２】 グループ毎に協力して，宝探し指令書を作る。 ①　地図上の宝の位置を確認する。 ②　スタート地点からどの道を通るか決める。 ③　その指令文を作る。 ④　宝に辿り着くか確かめる。	○　グループの友達とやり取りしながら，協力して進めていくように声かけをする。 ①　各グループに担当する宝（アルファベット１文字）を知らせる。 ①　地図上で，どの道順を辿るのか，実際に線を引きながら決めるように声かけをする。 ②　英語で書かれた指令表現は，カード化して用意する。 ③　指令文は，表現カードを選んだり並べかえたりすることで組み立て，作ることができるようにする。	【コ】進んで友達と宝探し指令書を作ったり読み解いたりしようとしている。（行動観察，発言）

６【Activity３】 　他のグループが作った宝探し指令書を読み解く。	○　グループで協力して読み解くように声かけをする。 ○　地図上に線を引きながら進んでいくように声かけをする。 ○　辿り着いた宝のアルファベットを書きためていくワークシート「The Treasure Box」を用意する。 ○　他の７グループ全部まわるように声掛けをする。	【慣】道案内の表現に慣れ親しんでいる。また，簡単な語句を読むことに慣れ親しんでいる。（行動観察・ワークシート）
７【Activity４】 　クラス全員で本当の宝を確認し合う。	○「The Treasure Box」に集めた８文字を発表し合い，それを読むことで本当の宝物（everyone）を確認する。	
８【Reflection　time】	○　友達と協力して絵やアルファベットを手がかりに道順のカードを選んだり読んだりすることができたか振り返るよう声かけをする。	

１１　板書例